

公益社団法人 長野グライダー協会

平成30(2018)年度 事業報告

(平成30年5月1日～平成31年4月30日)

令和元年 5月12日

平成30年度の理事会にて承認された事業計画書に基づき、以下の活動を行った。

1. 航空スポーツに関する訓練

1) 会員通常訓練

土日を中心に96日のフライト活動と、14日の整備・作業活動、合計110日間の活動を計画した。

実際には、92日間のフライト活動と、11日間の整備活動を行い、計103日活動した。

参加者は毎回10～20人。科目の基礎練習をはじめ、リッジソアリング、サーマルソアリング、クロスカントリーなどを通じて各会員が技量の向上に努めた。特に長野の特徴である長距離クロスカントリー飛行、および山岳波上昇気流を活用した高高度飛行は、今年度も多数、安全に実施することができた。

当年度も、8月を機体の整備期間として充当し、整備しやすい環境の中、多数の整備参加者を募り、効率的に整備作業と耐空検査を実施することができた。

冬期間は年末納会の後、1月中旬までを酷寒のため活動休止とした。昨年度の2月再開に対して、会員のフライト日数増の要望より、本年度は2週間繰り上げた。

2) 山岳滑翔体験会

ホームページやチラシ、滑空協会の機関誌を通じて山岳滑翔をPRし、通年での体験飛行に社会人や、大学生、高校生が参加した。長野の地域特性を理解してもらえる機会となった。

3) 学生合宿の受け入れ

現在の学生会員大学は、防衛大学校、関西外国語大学、学習院大学、京都大学、信州大学の5校。各大学とも宿泊形式の合宿を中心に長野滑空場に来場し、ピュアグライダー、モータグライダーを活用してフライト練習活動をおこなった。

またその他大学の学生、OB等の訪問も多く、体験搭乗の他、一日会員として活動に参加した。

(慶應大学、立命館大、関西大など)

信大航空部は部員も増え、自主運行できる技量も有するレベルとなり、自主合宿を実施した。

12/22,23、3/17～21の2合宿が一般会員も支援するなかで開催された。他大学も多数参加し、技量が飛躍的に向上し、その後のソロフライトへと結びついた。

4) ナガノフライトサービスの運用

活動日に運用し、当協会の運航とともに、ドクターヘリコプターや報道機関等のヘリコプターにトラフィックや気象情報を提供することによって、安全な飛行を確保することができた。

5) グライダー体験飛行

長野市内外より、ホームページや看板、飛行中のグライダーを観て多数の方々が滑空場を訪れた。

グライダー、モータグライダーの体験搭乗も多く、航空スポーツのすばらしさを伝えることができた。

グライダーの体験搭乗者	;長野市民 36人、その他一般84人
モータグライダーの体験搭乗者	;一般25人
合計、体験搭乗参加者数	;延べ 145人

2. 航空スポーツに関する競技会及び研究会の開催

1) 国際記録会オンラインコンテストへの参加

2018年における当クラブの参加者数11人、登録フライト数118発。XC総距離 5,617Km。

クラブとして日本で3位の記録を残した。コンテストへの参加によりウェーブやクロスカントリーの技術力の向上が図れたとともに、長野の滑空環境の良さがアピールできた。

2) 競技会開催のための研究・勉強会の推進

個人の操縦技術の向上を目指し、より効率的なサーマリングフライトに取り組んだ。

3) スカイスポーツ交流事業

2018/10/15、全国のグライダークラブ代表者が参加する『クラブミーティング』が九州の久住滑空場において開催された。14団体19名が参加。当協会からは小高氏が参加した。各種情報交換を行った。主なテーマは、トラポンや酸素等の装備、活動の活性化、高齢化と財政問題等。

3. 航空スポーツに関する教育指導体制の充実

1) 指導者の育成、教育証明取得の支援

今後1名の教育証明取得希望者がおり(小高氏)、クラブとしても支援していく予定である。

2) 指定養成施設の維持とライセンスの育成

令和元年5月時点で、会員2人が入校予定(佐藤氏、加納氏)。

6月に指定養成施設に入所の予定で、ライセンス取得を目指している。

3) 特定操縦技能審査業務

技量維持のために義務付けられている2年毎に必要な審査は、当協会の教官を中心に会員に対して実施している。

今年度は15人ほどが特定操縦技能審査を受審し、全員合格した。

4) 各種講習会の開催

昨年度、日本グライダークラブの櫻井玲子氏を招聘して実施した、「異常姿勢からの回復操作」の座学と実地練習時に得たノウハウをもとに、当クラブ教官から会員練習生へ、適宜教育が実施された。今後もノウハウを引継ぎ、会員の安全飛行の能力向上に努めていく。

4. 会誌の発行、資料の配布

1) ツイッターの管理・更新

ホームページのトップページに、指定養成施設であることを掲示し、グライダーパイロットスクールをPRした。ブログに代えて、ツイッターで会員の話題を掲示し、活動内容を伝えることに努めた。

2) 広報誌発行の検討

広報誌の発行は実施できなかったが、ツイッターにて対応した。

5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1) 多目的広場の管理受託及び維持管理

訓練の安全確保のためと、緊急時の一般航空機の飛来に備えて、多目的広場(滑空場)の維持管理活動をおこなった。(滑走路の平坦化整備、草刈り、ゴミ拾いなど)。およびギャラリー安全対策として、注意看板やロープ、案内説明板などを設置した。

2) 滑走路の整備

特に11/3,4の二日間は、重機4台をレンタルし、大々的に滑走路周辺の整備、草刈りを実施した。

会員約25名が参加。特に滑走路周辺の整備が大幅に進み、滑空場エリアとして使用できる有効面積が大幅に広がった。来年度も同様な活動を継続予定である。

同時に舗装滑走路面の痛みも目立つようになり、大規模な舗装補修も今後検討が必要と思われる。

3) 滑走路延長・誘導路計画の推進と、大規模競技会開催の検討を開始

滑走路南側の延長の可能性について、河川事務所の堤防工事等の計画に関する情報の収集に努めた。

また、将来の夢のひとつとして、長野にて大規模な国際競技大会を開催したい、という意見があがった。滑走路延長整備とともに、その可能性の検討を開始した(万場理事 取りまとめ)。

4) 機材の整備など

① クラブ機、クラブ車両

7/7~7/28でクラブ機の整備と耐空検査、クラブ車両の整備を実施した。

クラブ機4機がすべて耐空検査を終了し、運航を継続している。なお、JA2338は水平尾翼の破損によりJMGCにて耐空検査を実施した。

② ウインチ

昨年破損したミッション内のデタントスプリングを中古手配品に交換した。その後運航に問題なし。

また2019年3月に交換を予定して、ミッションを購入していたが、エンジンも合わせて交換すべきと判断。エンジンを手配中。2019年7月の整備期間を活用して、ミッション、エンジンを交換の予定。

(2019/1/12 運営委員会 議事)

5) 長野市スポーツ協会への参加

協会主催の各種会議に出席した。

また長野マラソンのボランティアに2人が参加した(4/21、小高氏、宮本氏)。

6) 太郎山愛護会への参加

10/21に開催された愛護会のトレッキング行事をロータックスファルケで空撮し、データを愛護会に提供することで、地域の活動に貢献できた。

春の5/27にも予定されていたが、クマの出没により当年は実施見送りとなった(先方都合)。

7) 新会員募集活動

当会ホームページでの告知や体験搭乗、1日会員制度を経て、全8人の新規加入があった。同時に退会者は8名であった(高齢等の理由も多い)。

信州大学新入生への入会勧誘活動では、多数の体験搭乗者を受け入れ、活動を支援した。

'18年度は10人の入部希望があった。信大の独自合宿も実現し、今後一層の活動拡大が期待できる。

8)旧クルマ林を協会で賃借してトレーラーの駐車場として整備し、引き続き会員の利便性の向上を図っている。

9) 必要経費としてのフライト費用の処理 (2019/1/12 運営委員会)

草刈手当分のフライト料、VIPの招待フライト費用等、クラブの必要経費として負担すべきフライト費用の処理方法を決定した。

「その他フライト」、として費用回収しないフライト、費用相殺するフライトを集計用紙に記載する。

理事会、会員にも周知され、運用を開始している。

10) 教官手当(旅費支給)の強化 (2019/1/12 運営委員会)

新人会員、信大学生会員数増加により、複座機のフライトニーズが高まった。

これまで、当番手当は教官1名に支給していたが、最大2名まで支給することとした。

これにより、複座機の稼働率向上がはかれた。

11) 部会開催と運営委員の新旧交代 (2019/2/23 部会、運営委員会)

① 2019/2/23に教官、運航管理、曳航の各部会が開催された。

新しい正副部長が選任された。

新部会員を各部会として推薦し、後日理事会にて承認された。

必要に応じて、各種ルールの見直しが検討、確認された。

② 同日、運営委員会を開催。2019/4月で現委員会の任期2年が終了のため、新委員会メンバーを選出した。

以上

平成30(2018)年度 フライト実績

運航日数:92日 (参考:前年度 運航日数:75日・・・前年度報告92日誤記)

機 体 番 号	発航回数(率・%)	飛行時間(率・%)
JA2518(複座)	419 (22.3)	112 (10.2)
(前年度)	263 (17.1)	102 (11.8)
JA21YP(複座)	944 (50.1)	243 (25.5)
(前年度)	707 (45.9)	195 (19.5)
JA2524(単座)	156 (8.3)	131 (13.8)
(前年度)	155 (10.1)	91 (9.1)
JA2338(モーター)	140 (7.4)	64 (6.7)
(前年度)	131 (8.5)	56 (5.6)
個 人 機	224 (11.9)	401 (42.1)
(前年度)	283 (8.5)	556 (55.5)
合 計	1,883 (100)	952 (100)
(前年度)	1,539 (100)	1,001 (100)

《 考察 》

- ・信大学生、一般会員とも、複座練習生が大幅に増えた。複座機2機の発航回数が大幅に伸びた。JA21YPは発数で見ると、総発数のうちの半分を占めている。
- ・練習生が増えたことにより、複座機を効率よく多数回飛ばすことが多くなった。
- ・単座機のJA2524は飛行時間が飛躍的に伸びている。ちょうど単座機で5時間等の長時間にチャレンジするレベルの会員が増えたためと考える。
- ・1月は半ばからフライト再開とした。これは昨年度、冬季休暇が長い、という意見があったため。当年度の1月は4日間フライトをおこなった。
- ・JA2338は、前年度より飛行時間が伸びた。前年度は整備により飛べない期間も長かったため。
- ・個人機前年度より発航回数、飛行時間ともに減であった。

以上

公益社団法人 長野グライダー協会

協会機フライト実績推移表

平成30(2018)年度

運航日数 92日

機体番号	発航回数(回)	飛行時間(時間)	備考
JA2518(複座)	419	112	
JA21YP(複座)	944	243	
JA2524(単座)	156	131	
JA2338(モーター)	140	64	
個人機	224	401	
合計	1,883	952	

平成29(2017)年度

運航日数 75日(92日は誤記)

機体番号	発航回数(回)	飛行時間(時間)	備考
JA2518(複座)	263	102	
JA21YP(複座)	707	195	
JA2524(単座)	155	91	
JA2338(モーター)	131	56	
個人機	283	556	
合計	1,539	1,001	

平成28(2016)年度

運航日数 93日

機体番号	発航回数(回)	飛行時間(時間)	備考
JA2518(複座)	142	56	
JA21YP(複座)	728	234	
JA2524(単座)	111	93	
JA2338(モーター)	111	44	
個人機	213	431	
合計	1,305	858	

平成27(2015)年度

運航日数 103日

機体番号	発航回数(回)	飛行時間(時間)	備考
JA2518(複座)	170	69	
JA21YP(複座)	698	219	
JA2524(単座)	93	92	
JA2338(モーター)	240	112	
個人機	345	698	
合計	1,546	1,190	

平成26(2014)年度

運航日数 95日

機体番号	発航回数(回)	飛行時間(時間)	備考
JA2518(複座)	180	65	

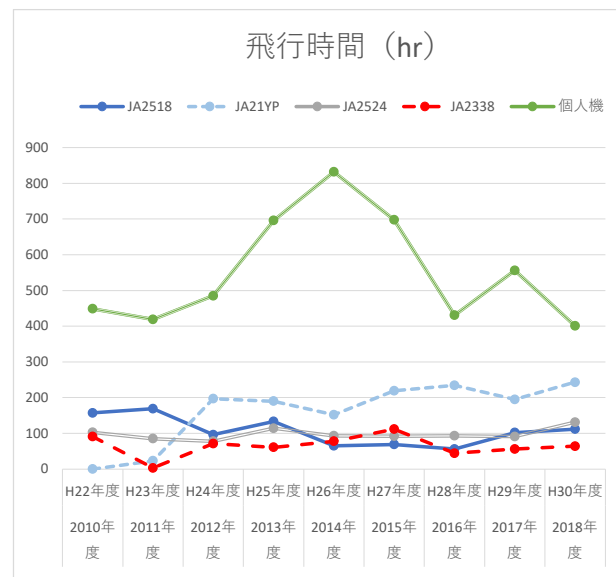
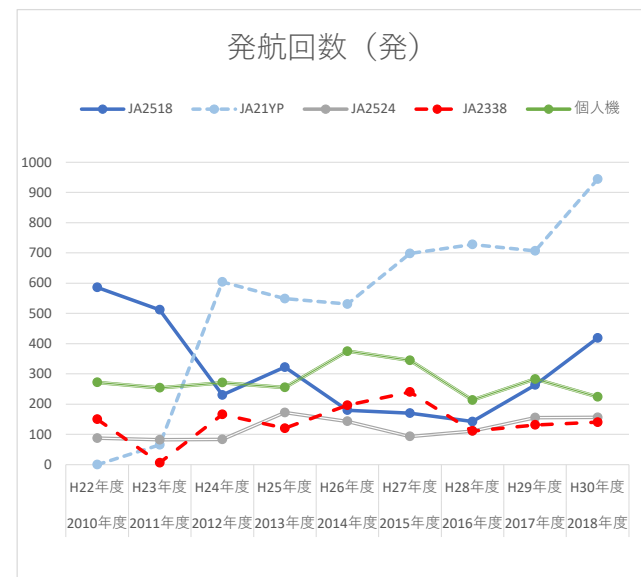
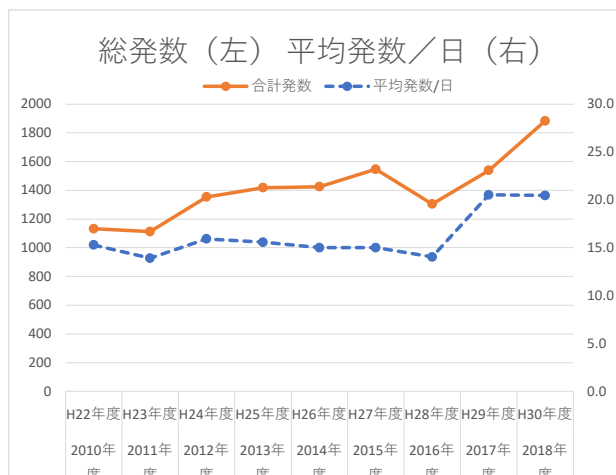
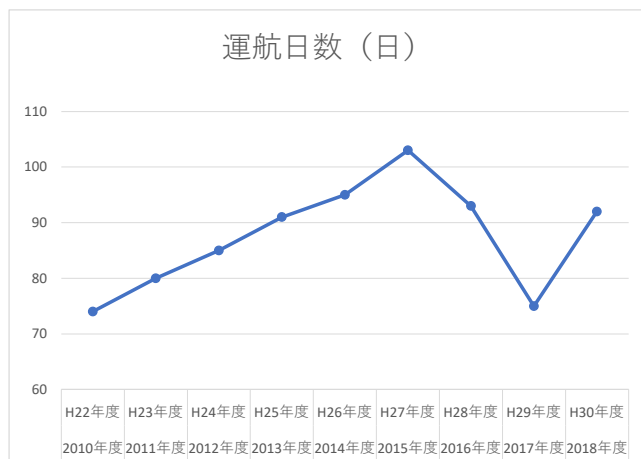
フライト実績一覧 (2010年度～2018年度)

運航日数	2010年度 H22年度	2011年度 H23年度	2012年度 H24年度	2013年度 H25年度	2014年度 H26年度	2015年度 H27年度	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度
運航日数	74	80	85	91	95	103	93	75	92

平均発数／日	2010年度 H22年度	2011年度 H23年度	2012年度 H24年度	2013年度 H25年度	2014年度 H26年度	2015年度 H27年度	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度
平均発数／日	15.3	13.9	15.9	15.6	15.0	15.0	14.0	20.5	20.5
合計発数	1132	1112	1354	1418	1425	1,546	1,305	1,539	1,883

運航発数	2010年度 H22年度	2011年度 H23年度	2012年度 H24年度	2013年度 H25年度	2014年度 H26年度	2015年度 H27年度	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度
JA2518	586	512	230	322	180	170	142	263	419
JA21YP	0	65	604	549	531	698	728	707	944
JA2524	87	82	83	172	143	93	111	155	156
JA2338	150	6	166	120	196	240	111	131	140
個人機	272	254	271	255	375	345	213	283	224
合計	1132	1112	1354	1418	1425	1,546	1,305	1,539	1,883

フライト時間	2010年度 H22年度	2011年度 H23年度	2012年度 H24年度	2013年度 H25年度	2014年度 H26年度	2015年度 H27年度	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度
JA2518	157	169	96	133	65	69	56	102	112
JA21YP	0	23	197	190	152	219	234	195	243
JA2524	103	85	78	114	93	92	93	91	131
JA2338	91	3	71	61	78	112	44	56	64
個人機	449	419	485	696	832	698	431	556	401
合計	828	805	927	1194	1220	1,190	858	1,001	952



JA21YP (複座)	5 3 1	1 5 2	
JA2524 (単座)	1 4 3	9 3	
JA2338(モーター)	1 9 6	7 8	
個人機	3 7 5	8 3 2	
合計	1 4 2 5	1 2 2 0	

平成 2 5 (2013)年度

運航日数 9 1 日

機体番号	発航回数 (回)	飛行時間 (時間)	備考
JA2518 (複座)	3 2 2	1 3 3	
JA21YP (複座)	5 4 9	1 9 0	
JA2524 (単座)	1 7 2	1 1 4	
JA2338(モーター)	1 2 0	6 1	
個人機	2 5 5	6 9 6	
合計	1 4 1 8	1 1 9 4	

平成 2 4 (2012)年度

運航日数 8 5 日

機体番号	発航回数 (回)	飛行時間 (時間)	備考
JA2518 (複座)	2 3 0	9 6	
JA21YP (複座)	6 0 4	1 9 7	
JA2524 (単座)	8 3	7 8	
JA2338(モーター)	1 6 6	7 1	
個人機	2 7 1	4 8 5	
合計	1 3 5 4	9 2 7	

平成 2 3 (2011)年度

運航日数 8 0 日

機体番号	発航回数 (回)	飛行時間 (時間)	備考
JA2518 (複座)	5 1 2	1 6 9	
JA21YP (複座)	6 5	2 3	
JA2524 (単座)	8 2	8 5	
JA2338(モーター)	1 9 3	1 0 6	
JA2261(モーター)	6	3	
個人機	2 5 4	4 1 9	
合計	1 1 1 2	8 0 5	

平成 2 2 (2010)年度

運航日数 7 4 日

機体番号	発航回数 (回)	飛行時間 (時間)	備考
JA2518 (複座)	5 8 6	1 5 7	
JA2524 (単座)	8 7	1 0 3	
JA2338(モーター)	1 5 0	9 1	
JA2261(モーター)	3 7	2 8	
個人機	2 7 2	4 4 9	
合計	1 1 3 2	8 2 8	